

ことり新聞

October
2025.10.7
Vol.150

伊藤看護部長

朝・夕のひんやりした空気に、秋を感じるようになりました。秋といえば「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」etc・・・皆さんはどのような秋をお過ごしでしょうか!(^_^)!

私はスポーツ観戦が大好きです。なので8月からとても忙しい日々を送っています。野球から始まり、バレーボール・世界陸上・レスリングの世界選手権・そして相撲・・・国体・・・野球、バスケ・・・心揺さぶられる日々が続いています。一生懸命な姿、勝っても負けても、それぞれの人生のドラマを想像し勝手に感動しています。

2020年、体育の日からスポーツの日（10月第2月曜日）に変わりました。

「スポーツを楽しむ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で活力のある社会の実現を願う」ことを趣旨に定められています。他者を尊重する精神！そして、活力あるチーム！私達看護チームにも言えることですね。



短い秋になりそうです。体調管理を行い仕事も遊びも楽しみましょう！2025年下期もよろしくお願いします。



10月 研 修 ・ 行 事

9/22～2日 大阪医専実習受け入れ	21日 法人新人看護「看護実践振り返り」
1日 介護福祉士入職式	23日 臨地実習指導者育成フォローアップ
認知症ケアチーム研修Ⅳ	インターンシップ受け入れ
7日 排泄ケアスペシャリストTEST	25日 法人新J4「ファシリテーション」
8・15日 法人卒後2年目「チーム連携に	28日 排泄ケアスペシャリストフォローアップ
おけるメンバーシップ」	29日 新人看護「多重課題」
15日 新人看護師「臨床倫理」	30日 在宅看護
17日 補助者のやりがいを見つける	31日 脳卒中看護
19・25日 福利厚生イベント	



今月の偉人名言

感謝の気持ちは幸せにつながり、怒りや妬み、恨みに対する最高の解毒剤になる。感謝の気持ちを性格の一部にしよう

マーク レクラウ



医療安全対策委員会

副委員長 西3階 河野看護師長

9月に実施した「患者誤認」に関するアンケートでは、多くの看護職員の皆さんに事例回答と日頃の取り組みを共有していただきました。ご協力ありがとうございました。今回のアンケートを通して、患者誤認のリスクに対する意識がまだ十分に根付いていない場面も見受けられました。**改めて、患者誤認は誰にでも起こりえること、そして日々意識し続けることの重要性を再認識する必要があります。**

ケアの提供前には一度立ち止まり、ネームバンドでの本人確認を徹底しましょう。人は誰でもヒューマンエラーを起こす可能性があります。「自分は間違わない」と過信せず、「もう一度確認しよう」・「人はミスをするかもしれない」という意識を持つことが大切です。小さな確認が、大きな事故を防ぎます。看護部全体で、患者さんの安全を守るために、今後も一人ひとりが高い意識を持って行動していきましょう。



①ネームバンドで直前の確認を徹底①



BLS研修

9月16・30日に協和会病院臨床工学士沼田主任に講師に来ていただきBLSの研修が行われました。



院内であつたり、外であつたりといくつかの場面を想定しての研修でした。院内ではドクター千里のシステムに従った動きをし、屋外ではまず自身の安全確保を行わなければならないと説明がありました。



参加者は皆さん倒れた人を助けるために大きい声で指示を出したり、心臓マッサージ（胸骨圧迫）をおこなったりと真剣だけど役になりきって楽しく受講されていました。

8月 新規褥瘡発生 5人

・西3階 1人 ・東4階 1人 ・西6階 3人

(9月褥瘡予防対策委員会より)